

2025年8月18日

栃木県立がんセンター看護師が「平井圧迫療法賞」受賞 術後ケアの新たな取り組みに継続的な高評価

このたび、栃木県立がんセンター看護部の奥田奈々恵（おくだ ななえ）看護師が、「第12回 平井圧迫療法賞」（日本静脈学会）を受賞しました。本賞は、静脈・リンパ疾患に対する圧迫療法に関する優れた臨床実践や研究成果に対して授与される、全国的にも権威ある専門賞のひとつです。

受賞の対象となった演題は、「リンパ管静脈吻合術後管理の新たな取り組み — UNNA BOOT で行う周術期圧迫療法」。形成外科との多職種連携のもと、術後の圧迫管理における新たな実践モデルを提案したもので、UNNA BOOT（酸化亜鉛軟膏を含む包帯）を用いた管理法が術後の回復促進に有効であることを、臨床を通じて示した点が高く評価されました。

奥田看護師は2023年に、医学専門誌『静脈学』に掲載された原著論文「リンパ管細静脈吻合術をより効果的にする周術期集中排液とセラピストの役割」で優秀論文賞を受賞しており、臨床と研究の両面での継続的な成果が外部からも高く評価されています。

◆ 奥田看護師のこれまでの評価（参考）

2022年：第6回 日本リンパ浮腫治療学会 優秀演題賞

「見えてきた！LVA 術後圧迫管理の最適化」

2023年：『静脈学』優秀論文賞

「リンパ管細静脈吻合術をより効果的にする周術期集中排液とセラピストの役割」

2025年：第12回 平井圧迫療法賞 受賞

「UNNA BOOT で行う周術期圧迫療法の新たな取り組み」

◆ 当センターのリンパ浮腫外来について

栃木県立がんセンターは、リンパ浮腫の外科的治療と専門的ケアの両方を有機的・効果的に実践する、全国でも数少ない施設です。リンパ浮腫外来では、形成外科医とリンパ浮腫療法士が連携し、治療から生活支援まで一貫した専門的ケアを提供しています。

▽リンパ浮腫外来の詳細

<https://www.tochigi-cc.jp/departments/01-03-06.html>



◆ 発表学会情報

受賞演題：リンパ管静脈吻合術後管理の新たな取り組み — UNNA BOOT で行う周術期圧迫療法

共同演者：大西文夫先生（埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科）

発表学会：第49回 日本静脈学会総会（2025年7月・北海道旭川市）

◆ 今後の展望

当センターでは今後も、患者さん一人ひとりの生活の質（QOL）を高める医療の提供と、専門職の育成・研究活動の推進に取り組んでまいります。

<お問い合わせ>

〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南 4-9-13

地方独立行政法人栃木県立がんセンター 広報広聴センター（経営企画室内） 吉田

TEL028-658-5151（代表）

【HP】 <https://www.tochigi-cc.jp>

